

# TPP交渉に関する説明会

○日時：平成26年10月10日（金）13：30～

○場所：三田共用会議所 講堂

○議事次第：

1. TPP交渉の状況について説明
2. 意見交換

○資料：

TPP交渉について

平成26年10月10日

内閣官房TPP政府対策本部

# TPP交渉について

内閣官房TPP政府対策本部

## 1 TPP首席交渉官会合(ベトナム・ハノイ(9月1日～10日))

### ○ 首席交渉官会合で議論した分野

労働、法的・制度的事項  
物品テキスト、原産地規則、SPS、TBT  
投資、越境サービス、金融サービス、政府調達  
知的財産、国有企業、環境 等

←オタワ会合  
(7. 3～7. 12)

上記について議論し、決着可能な論点については議論を決着させ、なお残された論点については論点ごとに期限を区切って議論を収斂させることとした。

### ○ 作業部会

法的・制度的事項、原産地規則、繊維、投資、金融サービス  
知的財産、国有企業、環境

### ○ 物品市場アクセスに関しては、米国以外の各国と二国間協議を精力的に行い、交渉の前進を図った。それぞれの交渉において着実な進展は実現したが依然として課題は残されている。

### ○ 今後、TPP交渉の早期決着に向けて引き続き交渉を加速させることとなった。

## 2 日米協議

### ○ 大江首席交渉官代理・カトラ一次席代行協議

7月14～15日(ワシントンDC)  
8月 4～ 5日 (ワシントンDC)  
9月 9～10日 (東京)

○ 森経済大使・カトラ一次席代行協議

7月16～18日（ワシントンDC）

8月13～14日（東京）

9月 3～ 5日（ワシントンDC）

※双方とも、その後、電話会議、テレビ会議等の手段も利用して協議を継続

○ 甘利大臣・フロマン通商代表協議

9月23～24日（ワシントンDC）

<協議結果概要>

- 1 フロマン代表との間で日米間の残された課題、すなわち農産品と自動車について率直に意見交換を行った。
- 2 我が国は日米間をまとめるべく、責任をもって会談に臨んだが、議論がかみ合わず、今回の協議では進展を得ることができなかった。
- 3 交渉をまとめるには、双方が歩み寄るという姿勢が必要である。
- 4 今後の段取りについては未定である。

3 今後の予定

(1) TPP閣僚会合

10月25～27日、豪州・シドニーで開催予定。

(参考)

APEC首脳会議 11月10、11日（北京・雁栖湖）

<豪州政府のプレスリリース>

閣僚は年末までに協定の基本的な要素について合意することを目指し交渉を進展させる。世界最大の地域通商協定の妥結は手に届くところにある。

Ministers will work to progress negotiations with an eye to concluding the basic elements of the agreement before the end of the year. The conclusion of the world ' s largest regional trade agreement is within reach.

## (2) 日米協議

カトラー米国次席通商代表代行は日米間のTPP市場アクセス交渉及び自動車に関する並行交渉の再開に向けた準備作業を行うため、10月10日より、本邦にて大江TPP首席交渉官代理及び森経済外交担当大使と会談を行う。ヴェッター大使は今週中に遅れて参加。